

努力・実績加算実績報告

努力・実績加算の獲得ポイント数

No.	項目	指標数字	ポイント数	獲得ポイント
1	有資格者の割合	令和4年4月時点(※)において、介護職員における介護福祉士、実務者研修修了者、介護職員初任者研修(平成24年3月31日以前に訪問介護員養成研修1級と2級を修了した者、平成24年3月31日以前に介護職員基礎研修を修了した者を含む)の資格を有する職員の占める割合が、常勤換算で70%以上	2	2
2	介護・看護職員の増配置(2:1)	令和4年4月時点(※)において、介護・看護職員の配置が、入所者2人に対して常勤換算で1人以上(2:1以上配置→入所者100名の場合50名以上を配置)	5	5
3	職員定着率の向上	令和4年4月1日時点(※)において、令和3年4月1日時点に在籍していた介護職員の定着率が85%以上(離職率が15%以下)	5	5
4	ボランティアコーディネーターの配置	ボランティアコーディネーターを配置した上で、年間37日以上ボランティアを受け入れている(予定を含む)。	3	3
5	障害者の雇用	令和4年4月1日時点(※)において、障害者(身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳を取得されている方)を雇用している。ただし、あん摩マッサージ指圧師加算の対象者は除く。	2	2
6	福祉避難所としての訓練等の実施	区市町村から福祉避難所としての指定を受けている施設で福祉避難所を運営するための訓練や備蓄等を行っている(予定を含む)。ただし、「事業継続計画に基づく訓練の実施」及び「自治会等との防災訓練の実施」の項目を兼ねる訓練は除く。	4	4
7	事業継続計画に基づく訓練の実施	災害時における事業継続計画(BCP)を策定した上で、事業継続訓練(集合研修、実動訓練、机上訓練等)を実施している(予定を含む)。ただし、「福祉避難所としての訓練等の実施」及び「自治会等との防災訓練の実施」の項目を兼ねる訓練は除く。	3	3
8	自治会等との防災訓練の実施	福祉避難所以外で、災害時の支援に関する協定を区市町村、自治会又は近隣の特養等と締結した上、施設が主催する防災訓練を連携して実施している(予定を含む)。ただし、「福祉避難所としての訓練等の実施」及び「事業継続計画に基づく訓練の実施」の項目を兼ねる訓練は除く。	4	4
9	島しょにおける人材確保	島しょ地域外に住所を有している職員を採用するとともに、赴任時の旅費や住居手当の一部を負担するなど、職員の定着を図っている(予定を含む)。(平成31年4月1日~令和5年3月31日の期間に採用した職員)	0	10
10		島しょ地域外における資格取得及び技術向上のための研修に年に延べ7日以上参加している(予定を含む)。	0	8
11	身寄りのない高齢者の受入れ	令和4年4月1日(※)時点において、身寄りのない高齢者(保証人、身元引受人、契約代理人となる親族等がない等)を入所者の5%以上受け入れている。	5	5
12	社福軽減の実施	令和4年4月1日(※)時点において、「社会福祉法人等による生計困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担軽減制度事業実施要綱」(平成12年5月1日付老発第474号の別添2)に基づき、利用者負担額の軽減を実施している。	5	5
13	要介護度の改善	入所者のうち、令和4年4月1日~令和5年3月31日の期間に実施した更新又は区分変更において、前回の要介護認定時と比較して、要介護度が改善している入所者の割合が10%以上(予定を含む)。※令和4年4月1日~令和5年3月31日の期間に要介護認定が行われた入所者が対象	3	3
14	サービスの向上	看取り介護研修の実施 看取り介護に関する研修を年2回以上行っている(予定を含む)。	2	2
15	他の社会福祉法人等との連携による人材育成	他の法人が運営する福祉施設や介護保険事業所と連携した研修や人材交流を年間7回以上又は延べ7日間以上企画して実施している(予定を含む)。ただし、他の研修機関等が企画して実施する研修等への参加を除く。	2	2
		他の法人が運営する福祉施設や介護保険事業所と連携した研修や人材交流を年間4回以上又は延べ4日間以上企画して実施している(予定を含む)。ただし、他の研修機関等が企画して実施する研修等への参加を除く。	1	
		他の法人が運営する福祉施設や介護保険事業所と連携した研修や人材交流を年間1回以上又は延べ1日間以上企画して実施している(予定を含む)。ただし、他の研修機関等が企画して実施する研修等への参加を除く。	1	
16	次世代への介護の魅力発信	職場体験等により小学校・中学校・高校の児童・生徒を受け入れている(予定を含む)。	2	2
17	地域社会への貢献	施設の職員が主体となり、近隣の高齢者に対する年間37日以上の配食サービスを実施している。または、介護予防教室・地域サロン・家族介護教室・認知症カフェ・子供食堂・会食サービス等を年9回以上主催している(予定を含む)。ただし、他の事業や制度により補助されている場合や併設している地域包括支援センターが主催している場合等を除く。	5	5
		施設の職員が主体となり、介護予防教室・地域サロン・家族介護教室・認知症カフェ・子供食堂・会食サービス等を年3回以上主催している(予定を含む)。ただし、他の事業や制度により補助されている場合や併設している地域包括支援センターが主催している場合等を除く。	4	
		施設の職員が主体となり、介護予防教室・地域サロン・家族介護教室・認知症カフェ・子供食堂・会食サービス等を年1回以上主催している(予定を含む)。ただし、他の事業や制度により補助されている場合や併設している地域包括支援センターが主催している場合等を除く。	2	
18	地域の高齢者の活動の場の提供	施設の職員が調整して、地域の高齢者等の団体に対し、介護予防活動や生きがい活動等の場を年4回以上提供している(予定を含む)。ただし、他の事業や制度により補助されている場合を除く。	2	2
19	感染症対策の徹底	感染症予防・感染症拡大防止に関する研修を年3回以上行っている(予定を含む)。	3	3
20	介護職員のメンタルケア対策の強化	感染症対策により、精神的負担が高まっていることを鑑み、介護職員のメンタルケア対策を強化している(予定を含む)。	5	5
21	業務継続に向けた取組みの強化	「介護施設・事業所における新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドライン」を踏まえ、事業継続計画(BCP)を見直し、適切な訓練(シミュレーション)を実施している。	3	3
22	新型コロナウイルス感染症発生時における職員派遣協定への参加 ※(1)又は(2)のいずれかのみ申請可能	(1) 新型コロナウイルス感染症発生時における東京都の職員派遣協定に参加している。	5	5
		(2) 新型コロナウイルス感染症発生時における区市町村内の東京都協定に準ずる協力の枠組みに参加している。	3	
23	財務情報等の公表	令和4年度東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金の減額に関する事務処理要綱に定める減額事由に該当したもの(※該当の場合は、ポイント数の欄に「-8」とプルダウンにて入力願います。)	-8	-8
合計				80

※年度途中で開設した施設は、開設日を基準日とする。(ただし、補助対象年度の1月1日までに開設した施設のみ)

施設区分

1 施設の概要

施設名	特別養護老人ホーム〇〇
施設所在地	1. 特別区・市・西多摩
定員	100 名

施設所在地及び定員を入力することで、「評価加算様式2」に「施設区分」が自動的に計算されます。
なお、施設区分の詳細は、下記のとおり。

【施設区分】

施設所在地	定員	パターン
1. 特別区・市・西多摩	69名以下	①
	70名以上	②
2. 島しょ地域	69名以下	③
	70名以上	④

評価加算実績報告
様式 2 - 1

※添付する挙証資料（令和4年度実績報告書提出時）

・評価加算実績報告様式 2 - 1 別添 1

有資格者の割合

1 令和4年4月の職員数（特養及び併設短期入所の合計）に占める有資格者の割合

	常勤換算後 介護職員数	うち有資格者数	有資格者数の割合
介護職員		自動入力のため、記入不要	
算定の可否			0.0%

2 獲得ポイント数

有資格者の割合		自動入力のため、記入不要	
---------	--	--------------	--

3 記入に当たっての注意事項

- 数値は「評価加算実績報告様式 2 - 1 別添 1」を入力することにより自動的に入力される。
- 「有資格者」は、介護福祉士、介護職員基礎研修修了者、介護職員初任者研修の資格を有する者とする。
- 有資格者及び介護福祉士については、令和4年4月1日時点で資格を取得している者とする。

《注意事項》 施設で保管すべき書類

- 有資格者の資格証の写し

評価加算実績報告様式2-1別添1
 [有資格者の割合]

令和4年度実績報告書提出時

	合計（令和4年4月末時点）
常勤換算後職員数	24.7人
上記のうち、有資格者数	24.7人

《内訳》

氏名	常勤換算後介護職員数 (常勤・非常勤)	介護福祉士	実務者研修 修了者	介護職員初任者 研修有資格者※	有資格者
〇〇 〇〇	1	1			1
〇〇 〇〇	1	1			1
〇〇 〇〇	1		1		1
〇〇 〇〇	1		1		1
〇〇 〇〇	1		1		1
〇〇 〇〇	1	1			1
〇〇 〇〇	1			1	1
〇〇 〇〇	1			1	1
〇〇 〇〇	1			1	1
〇〇 〇〇	1	1			1
〇〇 〇〇	1	1			1
〇〇 〇〇	1	1			1
〇〇 〇〇	1	1			1
〇〇 〇〇	1	1			1
〇〇 〇〇	1	1			1
〇〇 〇〇	1	1			1
〇〇 〇〇	1	1			1
〇〇 〇〇	0.9	0.9			0.9
〇〇 〇〇	0.9	0.9			0.9
〇〇 〇〇	0.9	0.9			0.9
〇〇 〇〇	0.5	0.5			0.5
〇〇 〇〇	0.5	0.5			0.5
〇〇 〇〇	0.5	0.5			0.5
〇〇 〇〇	0.5	0.5			0.5
〇〇 〇〇	0.5			0.5	0.5
〇〇 〇〇	0.5			0.5	0.5
〇〇 〇〇	0.5	0.5			0.5
〇〇 〇〇	0.3		0.3		0.3
〇〇 〇〇	0.3		0.3		0.3
〇〇 〇〇	0.3	0.3			0.3
〇〇 〇〇	0.3	0.3			0.3
〇〇 〇〇	0.3	0.3			0.3

※平成25年3月31日以前に訪問介護員養成（ヘルパー）研修1級と2級を修了した者、平成24年3月31日以前に介護職員基礎研修を修了した者を含む。

評価加算実績報告
様式2-2

※添付する挙証資料（令和4年度実績報告書提出時）
・評価加算実績報告様式2-2別添1

介護・看護職員の増配置

1 令和4年4月の介護・看護職員の数（特養及び併設短期入所の合計）

	常勤職員数	非常勤職員 (常勤換算後)	合計
介護職員			24.7
看護職員			14.7
合計			39.4

自動入力のため、記入不要

2 令和3年度の平均入所者数（併設短期入所を含む）

令和3年度の平均入所者数	55	人
--------------	----	---

(新設の場合)①6月未満の場合は、ベッド数の90%を入所者とし、②6月～1年未満の場合、直近6月の入所者延べ数を6月間の日数で除した数とし、③1年以上経過している場合、直近1年の日数で除した数とする

入所者数を入力してください。

3 介護・看護職員1人当たりの入所者の数

介護・看護職員1人当たりの入所者の数	1.4	人
算定の可否	自動入力のため、記入不要	
獲得ポイント数	0	

4 記入に当たっての注意事項

- 太枠部分を入力すること（その他は自動計算）。
- 小数点第2位以下は、計算の都度、切り捨てる。ただし、令和3年度の平均入所者数の算出に限り、小数点第2位以下を切り上げる。
- 令和3年度の平均入所者数の算定に当たっては、「指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準」（平成11年厚生省令第39号）、「指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準について」（平成12年3月17日付老企第43号）、「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準」（平成11年厚生省令第37号）及び「指定居宅サービス等及び指定介護予防サービス等に関する基準について」（平成11年9月17日付老企第25号）の規定に従うものとする。

看護職員の常勤換算数	合計
	14.7人

常勤職員

《令和4年度4月の看護職員名簿》※介護職員の記載は不要です。

No.	氏名	職種	常勤換算数 (プルダウンメニューから選択)
1	〇〇 〇〇	看護職員	1
2	〇〇 〇〇	看護職員	1
3	〇〇 〇〇	看護職員	1
4	〇〇 〇〇	看護職員	1
5	〇〇 〇〇	看護職員	1
6	〇〇 〇〇	看護職員	1
7	〇〇 〇〇	看護職員	1
8	〇〇 〇〇	看護職員	1
9	〇〇 〇〇	看護職員	1
10	〇〇 〇〇	看護職員	1
合計			10

非常勤職員

《令和4年度4月の看護職員名簿》※介護職員の記載は不要です。

No.	氏名	職種	常勤換算数 (手入力)
1	〇〇 〇〇	看護職員	0.2
2	〇〇 〇〇	看護職員	0.5
3	〇〇 〇〇	看護職員	0.7
4	〇〇 〇〇	看護職員	0.3
5	〇〇 〇〇	看護職員	0.4
6	〇〇 〇〇	看護職員	0.3
7	〇〇 〇〇	看護職員	0.4
8	〇〇 〇〇	看護職員	0.4
9	〇〇 〇〇	看護職員	0.3
10	〇〇 〇〇	看護職員	0.8
合計			4.7

常勤換算の際は、計算の都度、
 小数点第2位を切り捨ててください。

評価加算実績報告
様式 2 - 3

※添付する挙証資料（令和 4 年度実績報告書提出時）
・評価加算実績報告様式 2 - 3 別添 1

職員定着率の向上

1 令和 3 年度に勤務していた介護職員の数（常勤・非常勤合算で）

①	令和 3 年 4 月 1 日時点での在籍職員数	28	人
②	①のうち いる職員		人
	獲得ポイント数	0	

自動入力のため、記入不要

2 記入に当たっての注意事項

- ①、②は「評価加算変更協議様式 2 - 3 別添 1」を入力することで自動入力されます。（その他は自動計算）
- 常勤換算ではなく**実人数**で算定すること。
- 施設が直接雇用していない職員（派遣職員や委託業務従事者など）は含まない。
- 年度途中で就職・離職した職員は含まない。

評価加算実績報告様式2-3別添1
 【職員定着率の向上】

令和4年度実績報告書提出時

	合計
令和3年4月1日の職員数	28人
上記のうち、令和4年4月1日に 在籍している職員数	25人

《令和3年4月1日現在の職員名簿》

No.	氏名	職種	令和4年4月1日に在籍
1	〇〇 〇〇	介護士	○ 在籍
2	〇〇 〇〇	介護士	○ 当該法人の他施設に異動
3	〇〇 〇〇	介護士	× 退職
4	〇〇 〇〇	介護士	○ 在籍
5	〇〇 〇〇	介護士	○ 当該法人の他施設に異動
6	〇〇 〇〇	介護士	× 退職
7	〇〇 〇〇	介護士	○ 在籍
8	〇〇 〇〇	介護士	○ 在籍
9	〇〇 〇〇	介護士	○ 在籍
10	〇〇 〇〇	介護士	○ 在籍
11	〇〇 〇〇	介護士	○ 在籍
12	〇〇 〇〇	介護士	○ 在籍
13	〇〇 〇〇	介護士	○ 在籍
14	〇〇 〇〇	介護士	○ 在籍
15	〇〇 〇〇	介護士	○ 在籍
16	〇〇 〇〇	介護士	○ 在籍
17	〇〇 〇〇	介護士	○ 在籍
18	〇〇 〇〇	介護士	○ 在籍
19	〇〇 〇〇	介護士	○ 在籍
20	〇〇 〇〇	介護士	○ 在籍
21	〇〇 〇〇	介護士	× 退職
22	〇〇 〇〇	介護士	○ 在籍
23	〇〇 〇〇	介護士	○ 在籍
24	〇〇 〇〇	介護士	○ 在籍
25	〇〇 〇〇	介護士	○ 在籍
26	〇〇 〇〇	介護士	○ 在籍
27	〇〇 〇〇	介護士	○ 在籍
28	〇〇 〇〇	介護士	○ 在籍

評価加算実績報告
様式2-4

※添付する挙証資料（令和4年度実績報告書提出時）
・評価加算実績報告様式2-4別添1

ボランティアコーディネーターの配置

ボランティアコー
ディネーター氏名を
入力してください。

1 ボランティアコーディネーターの配置等の状況（令和5年3月末時点）

①	ボランティアコーディネーターの氏名	〇〇	〇〇
②	令和4年4月1日から令和5年3月31日までのボランティアの受入日数	37	日
自動入力のため、記入不要			

令和4年度中の受
入日数を入力して
ください。

2 記入に当たっての注意事項

- ①については氏名を入力すること。
- ②については日数を入力すること（その他は自動計算）。
- 延べ日数ではなく実日数で入力する。
 - 1日に複数のボランティアを受け入れた場合でも、1日とカウント。
 - 同じボランティアを2日受け入れた場合、2日とカウント。

《注意事項》 施設において保管すべき書類

- 新たに当該加算を取得した場合は、コーディネーターの辞令（写）

評価加算実績報告様式2-4別添1

令和4年度実績報告書提出時

【ボランティアコーディネーターの配置】

1. ボランティアの実施について(38日以上実施した場合は、37日分を記載してください。)

令和4年4月1日～令和5年3月31日までの受入日数	37	日
---------------------------	----	---

(内訳) ※日付ごとに1行で記載する。(1日に複数受け入れた場合も1行とする。)

No.	日付	ボランティア内容
1	令和4年10月3日	○○○○○○○○○○○○
2	令和4年10月4日	○○○○○○○○○○○○
3	令和4年10月5日	○○○○○○○○○○○○
4	令和4年10月6日	○○○○○○○○○○○○
5	令和4年10月7日	○○○○○○○○○○○○
6	令和4年10月10日	○○○○○○○○○○○○
7	令和4年10月11日	○○○○○○○○○○○○
8	令和4年10月12日	○○○○○○○○○○○○
9	令和4年10月13日	○○○○○○○○○○○○
10	令和4年10月14日	○○○○○○○○○○○○
11	令和4年10月17日	○○○○○○○○○○○○
12	令和4年10月18日	○○○○○○○○○○○○
13	令和4年10月19日	○○○○○○○○○○○○
14	令和4年10月20日	○○○○○○○○○○○○
15	令和4年12月1日	○○○○○○○○○○○○
16	令和4年12月2日	○○○○○○○○○○○○
17	令和4年12月5日	○○○○○○○○○○○○
18	令和4年12月6日	○○○○○○○○○○○○
19	令和4年12月7日	○○○○○○○○○○○○
20	令和4年12月8日	○○○○○○○○○○○○
21	令和4年12月9日	○○○○○○○○○○○○
22	令和4年12月12日	○○○○○○○○○○○○
23	令和4年12月13日	○○○○○○○○○○○○
24	令和4年12月14日	○○○○○○○○○○○○
25	令和4年12月15日	○○○○○○○○○○○○
26	令和4年12月16日	○○○○○○○○○○○○
27	令和5年2月1日	○○○○○○○○○○○○
28	令和5年2月2日	○○○○○○○○○○○○
29	令和5年2月3日	○○○○○○○○○○○○

No.	日付	ボランティア内容
30	令和5年2月6日	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
31	令和5年2月7日	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
32	令和5年2月8日	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
33	令和5年2月9日	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
34	令和5年2月10日	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
35	令和5年2月13日	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
36	令和5年2月14日	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
37	令和5年2月15日	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

評価加算実績報告
様式 2 - 5

※添付する挙証資料（令和4年度実績報告書提出時）
・評価加算様式 2 - 5 別添 1

障害者の雇用

1 障害者の雇用状況

①	障害者	自動入力のため、記入不要	人

2 記入に当たっての注意事項

- 数値は「評価加算変更協議様式 2 - 5 別添 1」を入力することにより自動的に入力される。
- 当該加算要件における障害者とは、次のいずれかの手帳を取得しているもの。（「身体障害者手帳」「精神障害者保健福祉手帳」「療育手帳」のいずれか。）

評価加算実績報告様式2-5別添1
【障害者の雇用】

令和4年度実績報告書提出時

No.	職種	採用日 (令和4年4月1日以前)	手帳(種類)
1	事務	平成27年4月1日	身体障害者手帳
2	清掃	平成28年5月1日	精神障害者保健福祉手帳
3	清掃	平成29年10月1日	療育手帳
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

※記入に当たっての注意事項

- 当該加算要件における障害者とは、次のいずれかの手帳を取得しているもの。
(「身体障害者手帳」「精神障害者保健福祉手帳」「療育手帳」のいずれか。)

福祉避難所としての訓練等の実施

1 福祉避難所としての指定状況等（令和5年3月末時点）

区市町村から福祉避難所としての指定を受けている。（予定を含む）。（指定は受けし、実態として避難サービスの指定も含む。）	プルダウンメニューから選択してください	受けている
避難所を運営するた（予定を含む）。	プルダウンメニューから選択してください	備蓄している/訓練を実施している
自動入力のため、記入不要		

2 記入に当たっての注意事項

- 太枠部分をプルダウンメニューから選択すること（その他は自動計算）。
- 防災協定等に期間の定めがない場合や年度ごとの自動更新となっている場合は、適宜、当該区市町村、自治会又は近隣の特養と必要な見直し等を行うとともに、評価加算の申請の際には当該防災協定等が有効であることについて確認しておくこと。
- 協定に定める受入体制等の内容は、できるだけ具体的なものであることが望ましい。

《注意事項》施設において保管すべき書類

- 福祉避難所を運営するために実施した備えに関する資料
（訓練の実施記録や備蓄物資のリストなど）

評価加算実績報告様式2-6別添1
【福祉避難所としての訓練等の実施】

令和4年度実績報告書提出時

1. 福祉避難所としての指定等

締結日	令和2年4月1日
-----	----------

協定等で想定されている災害	地震災害	風水害	火災	その他
協定書に記載がある場合は、○を記入→				○

避難所の開設マニュアルの有無	有
----------------	---

2. 避難所を運営するための態勢整備

・実施している取組みの該当欄にその内容を記入してください。

(1) 避難者を受入れるための備蓄

○ ○○○○○○○○○○○○○

(2) 福祉避難所を運営するための訓練（日時、主な参加者及び人数、内容等）

○日時 ○○○○○○○○○○○○○
○主な参加者及び人数 ○○○○○○○○○○○○○
○内容 ○○○○○○○○○○○○○

(3) その他

○ ○○○○○○○○○○○○○

事業継続計画に基づく訓練の実施

1 事業継続計画に基づく訓練の実施（令和5年3月末時点）

災害時における事業継続計画（BCP）を策定した上で、 事業継続訓練を実施している（予 プルダウンメニューから選択してください	策定した上で実施して いる
自動入力のため、記入不要	

2 記入に当たっての注意事項

- 太枠部分をプルダウンメニューから選択すること（その他は自動計算）。
- 事業継続訓練の内容については、[内閣府の防災情報のページを参照](http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyuu/keizoku/kk.html)のこと。
<http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyuu/keizoku/kk.html>

《注意事項》施設において保管すべき書類

- 事業継続計画
- 事業継続訓練の実施記録

評価加算実績報告様式2-7別添1
【事業継続計画に基づく訓練の実施】

令和4年度実績報告書提出時

1. 事業継続計画の策定

策定日	令和2年4月1日
-----	----------

計画で想定されている災害	地震災害	風水害	火災	その他
計画書に記載がある場合は、○を記入→	○	○		○

2. 事業継続計画に基づく訓練

・訓練の内容を記入してください。（日時、主な参加者及び人数、内容等）

<p>○日時 ○○○○○○○○○○○○</p> <p>○主な参加者及び人数 ○○○○○○○○○○○○</p> <p>○内容 ○○○○○○○○○○○○</p>
--

自治会等との防災訓練の実施

1 自治会等との防災訓練の実施状況（令和5年3月末時点）

福祉避難所以外で、 災害時の 支援に関する区市町村、自治会又は近隣の特養（例：1次避難所）	プルダウンメニューから選択してください	締結している
協定を締結した上で、防災訓練を区市町村、自治会又は近隣の特養と連携して、	プルダウンメニューから選択してください	主催して実施/他機関が開催し、参加
自動入力のため、記入不要		

2 記入に当たっての注意事項

- 太枠部分をプルダウンメニューから選択すること（その他は自動計算）。
- 防災協定等に期間の定めがない場合や年度ごとの自動更新となっている場合は、適宜、当該区市町村、自治会又は近隣の特養と必要な見直し等を行うとともに、評価加算の申請の際には当該防災協定等が有効であることについて確認しておくこと。

《注意事項》施設において保管すべき書類

- 防災訓練の実施記録

評価加算実績報告様式2-8別添1
【自治会等との防災訓練の実施】

令和4年度実績報告書提出時

1. 災害時の支援に関する協定

締結日	令和2年4月1日
-----	----------

協定で想定されている災害	地震災害	風水害	火災	その他
協定書に記載がある場合は、○を記入→	○	○		○

災害発生時の支援マニュアル等の有無	有
-------------------	---

2. 災害発生時の態勢整備

・実施している取組みの該当欄にその内容を記入してください。

(1) 区市町村、自治会又は近隣の特養等との支援体制

○ ○○○○○○○○○○○○○

(2) 防災訓練の実施（日時、主な参加者及び人数、内容等）

○日時 ○○○○○○○○○○○○○
○主な参加者及び人数 ○○○○○○○○○○○○○
○内容 ○○○○○○○○○○○○○

(3) その他

○ ○○○○○○○○○○○○○

評価加算実績報告
様式2-9

※添付する挙証資料（令和4年度実績報告書提出時）
・評価加算様式2-9別添1

島しょにおける人材確保

1 島しょ地域外からの職員の確保（令和5年3月末時点）

島しょ地域外に住所を有している職員を採用するとともに、赴任時の旅費や居住手当の一部を負担するなど、職員の定着を図っている（予

プルダウンメニューから選択してください

行っている

ただし、対象の職員は、平成31年4月1日～令和5年3月31日の期間に採用した職員に限る。

自動入力のため、記入不要

2 記入に当たっての注意事項

- 太枠部分を入力すること（その他は自動計算）。

《注意事項》施設において保管すべき書類

- 旅費や住居手当の一部負担実績がわかるもの

1. 赴任旅費の支給及び住宅手当の支給等状況について

No.	職員氏名	採用年月日 (平成31年4月1日～令和5年3月31日 の期間に島しょ地域外から採用した職員)	令和4年度の実績		
			赴任旅費	住居手当	その他 (取組み内容を記載)
1	〇〇 〇〇	平成29年4月1日		○	帰省等にかかる旅費手当等
2	〇〇 〇〇	令和2年4月1日	○	○	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

評価加算実績報告
様式2-10

※添付する挙証資料（令和4年度実績報告提出時）
・評価加算様式2-10別添1

島しょにおける人材確保

日数を入力してください。

2 島しょにおける資格取得及び技術向上について（令和5年3月末時点）

島しょ地域外における資格取得及び技術向上のための研修に年延べ7日以上参加している（予定を含む）。	12	日
自動入力のため、記入不要		

3 記入に当たっての注意事項

- 太枠部分を入力すること（その他は自動計算）。
- 延べ日数で入力する。同時に2名が2日研修に参加した場合は、4日とカウント。

《注意事項》施設において保管すべき書類

- 島しょ地域外における研修へ参加したことがわかるもの

評価加算実績報告様式2-10別添1
【島しょにおける人材確保】

令和4年度実績報告書提出時

1. 島しょ地域外における研修の参加記録について
(8回以上実施した場合は、そのうちの7回分を記載してください。)

No.	研修年月日または期間	研修名(※)	研修会場が所在する区市町村	受講者氏名
1	令和4年5月2日	〇〇研修	千代田区	〇〇 〇〇
2	令和4年6月1日	〇〇研修	中央区	〇〇 〇〇
3	令和4年7月1日	〇〇研修	港区	〇〇 〇〇
4	令和4年8月1日	〇〇研修	文京区	〇〇 〇〇
5	令和4年9月1日	〇〇研修	新宿区	〇〇 〇〇
6	令和4年10月3日	〇〇研修	千代田区	〇〇 〇〇
7	令和4年11月1日	〇〇研修	中央区	〇〇 〇〇

(※) 研修名から内容が推測出来ない場合は、内容を記載してください。

身寄りのない高齢者の受入れ

入所者数を入力してください。

1 身寄りのない高齢者の受入人数（特養入所者のみ）

①	令和4年4月1日時点での特養の入所者数	100	人
②			人
③	身寄りのない高齢者の受入れ率		%
	獲得ポイント数	5	

自動入力のため、記入不要

2 記入に当たっての注意事項

- 太枠部分を入力すること（その他は自動計算）。
- 身寄りのない高齢者とは、**親族**で保証人、身元引受人、契約代理人となる者がいない高齢者をいう。
- 親族以外の成年後見人が選任されている場合は、身寄りのない高齢者とみなす。

《注意事項》施設において保管すべき書類

- **身寄りのない高齢者の受入れの実績がわかる資料**

評価加算実績報告様式2-11別添1
【身寄りのない高齢者の受入れ】

令和4年度実績報告書提出時

No.	生年月日	性別
1	昭和15年3月10日	男性
2	昭和14年4月8日	女性
3	昭和14年4月9日	女性
4	昭和14年4月10日	女性
5	昭和14年4月11日	男性
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		

社福軽減の実施

1 軽減の実施状況（令和4年4月1日時点）

プルダウンメニューから選択してください

「社会福祉法人等による生計困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額軽減制度事業実施要綱」（平成12年5月1日付老発第474号の別添3）に基づき、利用者負担額の軽減を実施している。	実施している
自動入力のため、記入不要	

2 記入に当たっての注意事項

- 太枠部分をプルダウンメニューから選択すること（その他は自動計算）。
- 社福軽減を実施している施設は、福祉保健局HPの「特別養護老人ホーム一覧」に軽減実施の旨が記載されているので、協議する際は必ず確認すること。

評価加算実績報告
様式2-13

※添付する挙証資料（令和4年度実績報告書提出時）
・評価加算様式実績報告2-13別添1

要介護度の改善

1 要介護度が改善した入所者（特養入所者のみ）の人数

①	令和4年度中に要介護状態の再 人数	30	人
②	①のうち、要介護度が改善した入所者の人数（予定を 含む）。	3	人
③	要介護度が改善した入所者の人数（特養入所者のみ）	自動入力のため、記入不要	

該当者数を入力してく
ださい。

該当者数を入力してく
ださい。

2 記入に当たっての注意事項

- 太枠部分を入力すること（その他は自動計算）。
- ①には、令和4年度において、特養に入所中に要介護認定の変更・更新認定を受けた入所者の人数（再認定の効力が発生する日＝**要介護度の有効期限の開始日**）を記載する。
- ②には、①のうち要介護度が**前回認定から**改善した入所者の人数を記載する。
- 特養の入所前に認定を受けた者、特養の退所後に認定を受けた者は含めない。

合計	令和4年度中に要介護状態の再認定を受けた入所者数	左記のうち、要介護度が改善した入所者の人数
	30人	3人

<令和4年度中に再認定を受けた入所者>

No.	氏名	年齢	性別	前回要介護度	今回要介護度	改善	要介護認定の有効期間の開始日
1	〇〇 〇〇	100歳	男性	4	4	—	令和4年9月1日
2	〇〇 〇〇	99歳	女性	5	4	○	令和4年9月2日
3	〇〇 〇〇	98歳	男性	4	3	○	令和4年9月3日
4	〇〇 〇〇	97歳	女性	5	4	○	令和4年9月4日
5	〇〇 〇〇	96歳	男性	5	5	—	令和4年9月5日
6	〇〇 〇〇	95歳	女性	4	4	—	令和4年9月6日
7	〇〇 〇〇	94歳	男性	5	5	—	令和4年9月7日
8	〇〇 〇〇	93歳	女性	5	5	—	令和4年9月8日
9	〇〇 〇〇	92歳	男性	5	5	—	令和4年9月9日
10	〇〇 〇〇	91歳	女性	5	5	—	令和4年9月10日
11	〇〇 〇〇	90歳	男性	5	5	—	令和4年9月11日
12	〇〇 〇〇	89歳	女性	5	5	—	令和4年9月12日
13	〇〇 〇〇	88歳	男性	5	5	—	令和4年9月13日
14	〇〇 〇〇	87歳	女性	5	5	—	令和4年9月14日
15	〇〇 〇〇	86歳	男性	5	5	—	令和4年9月15日
16	〇〇 〇〇	85歳	女性	5	5	—	令和4年9月16日
17	〇〇 〇〇	84歳	男性	5	5	—	令和4年9月17日
18	〇〇 〇〇	83歳	女性	5	5	—	令和4年9月18日
19	〇〇 〇〇	82歳	男性	5	5	—	令和4年9月19日
20	〇〇 〇〇	81歳	女性	5	5	—	令和4年9月20日
21	〇〇 〇〇	80歳	男性	5	5	—	令和4年9月21日
22	〇〇 〇〇	79歳	女性	4	4	—	令和4年9月22日
23	〇〇 〇〇	78歳	男性	4	4	—	令和4年9月23日
24	〇〇 〇〇	77歳	女性	4	4	—	令和4年9月24日
25	〇〇 〇〇	76歳	男性	4	4	—	令和4年9月25日
26	〇〇 〇〇	75歳	女性	4	4	—	令和4年9月26日
27	〇〇 〇〇	74歳	男性	4	4	—	令和4年9月27日

No.	氏名	年齢	性別	前回要介護度	今回要介護度	改善	要介護認定の有効期間の開始日
28	〇〇 〇〇	73歳	女性	4	4	—	令和4年9月28日
29	〇〇 〇〇	72歳	男性	3	3	—	令和4年9月29日
30	〇〇 〇〇	71歳	女性	3	3	—	令和4年9月30日

看取り介護研修の実施

実施回数を入力してください。

1 看取り介護にかかる研修の実施状況（令和5年3月末時点）

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの看取り介護にかかる研修実施回数（予定を含む）	4	回
自動入力のため、記入不要		

2 記入に当たっての注意事項

- 太枠部分に回数を入力すること（その他は自動計算）。

《注意事項》施設において保管すべき書類

- 看取り介護にかかる研修の実施記録

評価加算実績報告様式2-14別添1

【看取り介護研修の実施】

令和4年度実績報告書提出時

1. 看取り介護に関する研修実施（3回以上実施した場合は、そのうちの2回分を記載してください。）

No.	研修年月日	研修名・内容（※）	受講者数
1	令和4年8月1日	施設での看取りに関する基礎知識	50人
2	令和4年11月1日	看取り時の職員及び家族への支援について	30人

（※）研修名から内容を推測できない場合は、内容を記載してください。

他の社会福祉法人等との連携による人材育成

1 他の社会福祉法等との連携による人材育成（令和5年3月末時点）

実施回数を入力してください。

他の法人が運営する福祉施設や介護保険事業所と連携した研修や人材交流を企画して実施した回数（予定を含む）。 ※ただし、他の研修機関が企画して実施する研修等への参加を除く。	延べ	12	回
自動入力のため、記入不要			

2 記入に当たっての注意事項

- 太枠部分に回数を入力すること（その他は自動計算）。

《注意事項》施設において保管すべき書類

- 研修や人材交流の実施記録

1. 他の社会福祉法人等と連携した研修や人材交流の実施について（8回以上行った場合は、そのうちの7回分を記載してください。）

No.	実施年月日	実施主体	連携先	種別	内容	人数
1	令和4年8月12日	特別養護老人ホーム □△●	〇〇法人 △△△ホーム	研修	介護技術の向上のため、双方の施設における介護時のノウハウを発表し、意見交換を行った。	20
2	令和4年9月16日	特別養護老人ホーム □△●	〇〇法人 △△△ホーム	人材交流 (派遣)	双方の施設で、介護職員を5日間の間、派遣し、人材交流を行った。	2
3	令和4年10月11日	特別養護老人ホーム □△●	〇〇法人 △△△ホーム	人材交流 (派遣)	双方の施設で、介護職員を6日間の間、派遣し、人材交流を行った。	3
4	令和4年11月29日	特別養護老人ホーム □△●	〇〇法人 △△△ホーム	人材交流 (受入)	双方の施設で、介護職員を7日間の間、受け入れし、人材交流を行った。	2
5	令和4年12月7日	特別養護老人ホーム □△●	〇〇法人 △△△ホーム	人材交流 (受入)	双方の施設で、介護職員を8日間の間、受け入れし、人材交流を行った。	3
6	令和5年1月16日	特別養護老人ホーム □△●	〇〇法人 △△△ホーム	人材交流 (派遣)	双方の施設で、介護職員を6日間の間、派遣し、人材交流を行った。	1
7	令和5年1月31日	特別養護老人ホーム □△●	〇〇法人 △△△ホーム	人材交流 (受入)	双方の施設で、介護職員を8日間の間、受け入れし、人材交流を行った。	2

評価加算実績報告
様式2-16

※添付する挙証資料（令和4年度実績報告書提出時）
・評価加算実績報告様式2-16別添1

次世代への介護の魅力発信

1 次世代への介護の魅力発信（令和5年3月末時点）

受入れ学校数を入力してください。

職場体験等による小学校・中学校・高校の 児童・生徒の受入れ実績	3	校
自動入力のため、記入不要		

2 記入に当たっての注意事項

- 太枠部分を入力すること（その他は自動計算）。
- 令和4年4月1日から令和5年3月31日までに受け入れた学校数を記入すること。

《注意事項》施設において保管すべき書類

- 受入れの実績がわかる資料

評価加算実績報告様式2-16別添1
【次世代への介護の魅力発信】

令和4年度実績報告書提出時

1. 次世代への介護の魅力発信について（受入実績が1回以上あれば対象となりますが、複数回受け入れている場合は、3回分までを記載してください。）

No.	期間			団体名	人数
1	令和4年4月15日	～	令和4年4月26日	〇〇高校	50人
2	令和4年7月10日	～	令和4年7月15日	△△小学校	40人
3	令和5年2月1日	～	令和5年2月6日	□□□中学校	30人

講座・サロン等の開催

1 講座・サロン等の開催の状況（令和5年3月末時点）

①	施設の職員が主体となり、近隣の高齢者に対する配食サービスを実施する回数 ※ただし、他の事業や制度に補助されている地域包括支援センターが主催し	50	回
②	施設の職員が主体となり、介護予防教室・地域サロン・家族介護教室・認知症カフェ・子供食堂・会食サービス等を主催する回数 ※ただし、他の事業や制度に補助されている場合や併設している地域包括支援センターが主催している場合を除く。	1	回
自動入力のため、記入不要			

別添1の実施回数を入力してください。

別添1の開催回数を入力してください。

2 記入に当たっての注意事項

- ①、②については回数を入力すること（その他は自動計算）。

《注意事項》施設において保管すべき書類

- 配食サービスや講座・サロン等の実施記録

評価加算実績報告様式2-17(都参考様式)
【講座・サロン等の開催】

令和4年度実績報告書提出時

1. 配食サービスの実施について

合計	実施日数
	50日

(内訳)

No.	実施月	実施日数	延べ人数	補助の有無
1	4月	2	20	無
2	5月	3	30	
3	6月	4	40	
4	7月	6	60	
5	8月	9	90	
6	9月	3	30	
7	10月	5	50	
8	11月	2	20	
9	12月	9	90	
10	1月	2	20	
11	2月	3	30	
12	3月	2	20	

2. 講座・サロン等の開催について (10回以上行った場合は、そのうちの9回分を記載してください。)

合計	開催回数
	1

No.	実施年月日	施設職員主体となつて開催した場合に「○」	講座・サロン等の詳細			適否
			主な対象者	内容	補助の有無	
1	令和4年5月12日	○	近隣の高齢者	地域の高齢者を対象に、施設の地域交流スペースを活用し、介護予防教室を開催した。主に、体操やストレッチを中心に行った。	無	適
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						

地域の高齢者の活動の場の提供

1 地域の高齢者の活動の場の提供（令和5年3月末時点）

提供回数を入力してください。

施設の職員が調整して、地域の高齢者等の団体に対し、介護予防活動や生きがい活動等の場を提供する回数 ※ただし、他の事業や制度により補助されている場合を除く。	4	回
自動入力のため、記入不要		

2 記入に当たっての注意事項

- 太枠部分に回数を入力すること（その他は自動計算）。

《注意事項》施設において保管すべき書類

- 提供した日時や地域高齢者等の団体名等がわかる資料

評価加算実績報告様式2-18別添1
【地域の高齢者の活動の場の提供】

令和4年度実績報告書提出時

1. 地域の高齢者の活動の場の提供について（5回以上行った場合は、そのうちの4回分を記載してください。）

（内訳）

No.	実施年月日	提供先	目的	活動内容		
				内容	場所	補助の有無
1	令和4年7月21日	○△会	介護予防活動	体操やストレッチを行った。	地域交流スペース	無
2	令和4年8月16日	○△の会	生きがいの場	コーラスの練習を行った。	地域交流スペース	無
3	令和4年9月7日	○△を楽しむ会	生きがいの場	ハンドベルの練習を行った。	地域交流スペース	無
4	令和4年10月3日	○△会	介護予防活動	体操やストレッチを行った。	地域交流スペース	無

感染症対策の徹底

1 感染症対策の徹底（令和5年3月末時点）

実施回数を入力してください。

感染症予防・感染症拡大予防に関する研修を実施する回数（予定を含む）	3	回
自動入力のため、記入不要		

2 記入に当たっての注意事項

- 太枠部分に回数を入力すること（その他は自動計算）。

《注意事項》施設において保管すべき書類

- 感染症に関する研修を実施したことがわかる資料

評価加算実績報告様式2-19別添1

【感染症対策の徹底】

令和4年度実績報告書提出時

1. 感染症対策研修の実施（4回以上実施した場合は、そのうちの3回分を記載してください。）

No.	研修年月日	研修名又は内容（※）	受講者数
1	令和4年7月21日	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	15人
2	令和4年8月16日	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	20人
3	令和4年9月7日	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	30人

（※）研修名から内容を推測できない場合は、内容を記載してください。

介護職員のメンタルケア対策の強化

- 1 介護職員へのメンタルケア対策強化の実施（令和 **プルダウンメニュー**から選択してください

感染症対策により、精神的負担が高まっていることを鑑み、介護職員のメンタルケア対策を強化している（予定を含む）。	強化している
自動入力のため、記入不要	

- 2 記入に当たっての注意事項

- 太枠部分をプルダウンメニューから選択すること（その他は自動計算）。

《注意事項》施設において保管すべき書類

- メンタルケア対策を強化し、実施したことがわかる資料
- メンタルケア対策の実施記録

評価加算実績報告様式2-20別添1
【介護職員のメンタルケア対策の強化】

令和4年度実績報告書提出時

1. 介護職員のメンタルケア対策の強化について

No.	メンタルケア対策	
	概要	内容
1	○○○○○○○○○○○○	○○○○○○○○○○○○
2	○○○○○○○○○○○○	○○○○○○○○○○○○
3	○○○○○○○○○○○○	○○○○○○○○○○○○

業務継続に向けた取組みの強化

- 1 業務継続に向けた取組みの強化（令和5年3月） プルダウンメニューから選択してください

「介護施設・事業所における新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドライン」をふまえ、事業継続計画（BCP）を見直し、適切な訓練（シミュレーション）を実施している。	実施している
自動入力のため、記入不要	

- 2 記入に当たっての注意事項

- 太枠部分をプルダウンメニューから選択すること（その他は自動計算）。

《注意事項》施設において保管すべき書類

- 新興感染症の発生を想定した事業継続計画（BCP）を策定していることがわかる資料

【業務継続に向けた取組みの強化】

・実施した取組み内容を記入してください。

(1) 事業継続計画（BCP）の見直し

区分	改訂箇所	具体的な内容
1	○○○○	○○○○○○○○○○○○
2	○○○○	○○○○○○○○○○○○
3	○○○○	○○○○○○○○○○○○

(2) 訓練（シミュレーション）の実施

○日時
○○○○○○○○○○○○

○主な参加者及び人数
○○○○○○○○○○○○

○訓練内容等
○○○○○○○○○○○○

(3) その他、実施した取組

新型コロナウイルス感染症発生時における職員派遣協定への参加

1 新型コロナウイルス感染症発生時における職員派遣協定への参加（令和5年3月末時点）

(1)又は(2)のいずれかのみ申請可能

プルダウンメニューから選択してください

(1) 新型コロナウイルス感染症発生時における東京都の職員派遣協定に参加している。	参加している
(2) 新型コロナウイルス感染症発生時における区市町村内での東京都協定に準ずる協力の枠組みに参加している。	参加している
自動入力のため、記入不要	

プルダウンメニューから選択してください

2 記入に当たっての注意事項

- 太枠部分をプルダウンメニューから選択すること（その他は自動計算）。

《注意事項》施設において保管すべき書類

- 「高齢者施設における新型コロナウイルス感染症発生時における職員派遣協定」に登録していることがわかる資料